

大阪府立農芸高等学校 令和6年度 第2回学校運営協議会

日時：令和6年12月6日（金）15：00～16：30 校長室にて

出席者：美原区区长 小川様

さつき野学園長 佐古田様 帝塚山学院大学大学院教授 大堀様

同窓会会長 田中様 PTA会長 阪口様

校長、教頭、事務長、烏谷首席、井上首席、樽井首席、進路部長、保健部長、
教務部長、生活指導部長、各学科長

議題：

1，校長あいさつ

校長「本日は大変お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。学校経営計画の進捗状況についてご意見いただきたいと思います。よろしくお願い致します。」

2，学校運営協議会委員長選出

教頭「本日は根来様欠席のため同窓会会長田中様に委員長をお願いいたします。」

田中様「では始めさせていただきます。」

3，協議

・第1回授業アンケートの結果について

校長「1～6番までの資料を出させていただいております。それぞれの項目について分掌長から報告させていただきます。学校全体にかかるところは校長の私から説明させていただきます。」

校長「資料の2（授業アンケートについて）を御覧ください。」

質問1～9、肯定率について説明

校長「担当が少ない教科は省かせていただいています。3.5を超えるところをマーカーしています。R4年度からR6年度を比較したグラフを見ていただきますと特に上がっている項目は質問1の予習復習の項目が上がっています。授業に集中する部分は少し下がっていますが全体的に高い水準で良い結果ではないかと思えます。学年別の結果を見ていただきますと1年生の数値が例年高く2年生で落ち込む傾向は本年度も見られます。本年度は1年生のところで3.5を超える評価が多く見られます。R4～R6年度の1年生の比較をさせていただきますと今年度定員割れがあったのですが今年度が高くなっていることがわかります。」

校長「教科ごとの比較を御覧ください。数学の評価が全体的に低い傾向にあります。農業のところは農業をやりたい生徒が多いので高い評価となっています。2回目の授業アンケートについては第3回目の際に報告させていただきます。」

校長「授業のところではLGHの研究指定されておりプロジェクター（電子黒板）の活用を利用した学習が増えてきていると感じています。ご意見等いただければお願いします。」

阪口様「毎年数学が低い数値が出ていますが改善に向けた措置は何か取られていますか？」

校長「全教科で授業見学の際に改善を促すように指示していますが、教科の苦手意識もありますが、教員の教え方のところも0ではないと思います。評価の低い先生には改善は指導しているのですが。」

阪口様「評価の低い先生の話を知っている。」

阪口様「他の学校と同等のレベルとなるように措置をお願いします。」

校長「時間外の勤務時間数について報告させていただきます。今年度取り組んでいる中でどれくらい減っているか調べさせていただきました。今年5.3時間平均で減っています。特に8月9月11月がかなり減っています。今年度の取組の概要では4月から17時出切らせていただいています。また4月から18時30分完全下校の徹底を行っています。生徒たちも計画的に実習させることで時間の計画能力も養えたのではないかと思います。」

令和6年度学校経営計画について 各分掌からの報告

烏谷「農業教育の成果について報告させていただきます。本年度農文協から出ているルーラル電子図書館というデジタル教材を導入しており、その活用が多い生徒が受賞しており。この活用の影響が大きかったかと思います。アグリマイスターおよび特級位の最優秀を今年度取得している。農業技術検定でも合格者がでていて団体としても評価されています。本年度TV取材があり、外国からも韓国の学校からお話をいただいている。」

校長「アグリマイスターの資格は特に大学の入学者選抜で優遇している場合もあり、力を入れています。」

山本「懲戒件数今年減少しています。昨年度ほど重要な案件ではなく小さい案件が増えたと感じています。闇バイト・大麻などの問題は確認されていません。遅刻回数については昨年度よりも400回増えている。コロナ禍以降遅刻のハードルが低くなっている。また意欲が低い生徒が増えています。実習がいやだなどの農業高校であるのにというところでそういった生徒が増えているように感じます。授業時間中の正門と中央門の施錠を行っています。生徒の安全のために続けていきたい。」

校長「昔は開けっ放しであったのですが安全のため締めています。これまでのところ問題は確認されていません。進路についてお願いいたします。」

鈴木「進学の方ですが国立2名、公立1名合格しています。例年通りの形であるかと思います。公募生推薦では資格を持っているか、どのような活動をしているかがポイントになってくるかと思うので、早いうちから資格取得や活動を進めていく必要がある。就職に関して、農業系は2名、公務員は3名で少し少ない水準です。全体的には早めの指導が重要となると考えています。また文章をつくることに1年生からなれさせる必要があると考えています。」

稲葉「**AED**の講習会を2回行いました。1回目は生徒向け、2回目は教員向けにさせていただきました。これからも続けていきたいと考えています。」

葉山「**A**科は農業に興味のある生徒が多いです。生徒の意識は高いかと思っています。大体7割くらいは農業系に進みたいと考えていると思います。農業系の大学または大学校に進む生徒が多いです。また公務員で土木系に進んでいる生徒もあり、本年度の3年生はうまく自己実現ができたと思います。」

中山「**P**科は本年度石鹸の実習で事故があったくらいでその他は安全に活動できています。また学校向かいの洋菓子店との連携などがうまくできています。その他外部へのコンテストやセミナーに参加している生徒もいます。本年度よりInstagramを初めて情報発信に努めています。」

北田「**P**科同様にInstagramの活用をはじめ、定員の確保につながればいいかと思っています。外部の団体のオリーブ粕の利用による食育活動を養豚専攻で進めている。餌代の高騰がつづいているがピンチを活かして生徒が学習につながる形を模索しています。勤務時間の削減についても今後も取り組んでいきたい。」

事務長「生産資材の高騰が続いており今年度も700万円の追加予算要求をしている。万博の開催もあり財政的に厳しい状況です。追加予算が満額いただければ創意工夫をしていく必要がある。」

教頭「今年度も体験入学、学校説明会で中学校への**PR**活動を行っています。体験入学は早めに定員に達しました。夏休み期間に28名の中学校教員向けへの説明会を行い、好著評価であった。農芸祭でも中学生向けに案内を出し昨年度から1校5名より8名に増やしました。校外の説明会では生徒による説明を今年度実施しました。**PTA**より生徒の交通費を支出いただきありがとうございます。中学校訪問では今年度は2～3年生の有志にお願いしました。学校のパンフレットを新しくなりました。**PTA**会費を今年度値上げさせていただきました。活動は例年通り行いました。来年度に向けて入会の意思確認が必要でありこの点については対策が必要。」

井上「教科書について来年度もほとんど同じ教科書で行っています。令和8年度に多く改訂される予定です。来年度の生徒の入学選抜も大きく変わり対応を進めています。デジタル採点も進めています。教員の時間外数の削減にもつながっていくかと思っています。」

井上「教育相談について本年度から始めさせていただいています。相談件数は**10**件程度と少ないですがまだまだ知られていないのかもしれませんが。教育相談から支援につながる生徒もいますので体制を今後も検討させていただきたいと思います。」

樽井「**LGH**の2年目で電子黒板の利用が進んでいる。教職員の環境が代わり対応をすすめています。在宅勤務も可能になると聞いています。また導入されるツールで自動化などもあるため、時間外の削減につなげていけるかと思っています。また今年度から保護者向けへの案内も今年からペーパーレス化を行ったがまだうまくアクセスをできていない方もいるた

め、より簡便に操作できる形を検討しています。具体的には GoogleClassroom を検討しています。」

佐古田様「持ち帰ってやってしまうところもあるのではないかと思います。かえって時間外が増えることのないように注意していただきたい。公立高校の定員われのところで公立高校を心配している。コラボレーションでき、農業に興味を持つ生徒も生まれるのかと感じています。」

阪口様「予算がひっばくしているのは心配している。クラウドファンディングとかできないですか？」

校長「夢基金を検討しています。原材料があがっていてどこの学科も厳しい」

阪口様「広報誌もデジタル化して予算を削減して協力できたらと考えています。」

大堀様「教育相談や生活指導の話から特性をもとに間違っ入られた生徒も増えてきて大変だと思います。」

田中様「農芸祭ありがとうございました。美原区環境が変化していて驚いています。110周年を迎える農芸高校についてどのような位置づけになるのかと考えた。農芸高校にしかできないことはなにか。予算が厳しいなか農業高校としてなにがアピールできるのか考えている。大阪産、おおさかもんになにかつなげていけないかと考えています。いつも予算で支援させていただいているが今の環境をなくさないように支援を考えている。」

【閉会】